

Uvanceとどろきスタジアム by Fujitsu

バリアフリーマップ



©2024 Fujitsu Limited

施設ガイド



Uvanceとどろきスタジアム by Fujitsuへのアクセス注意点

- ※タクシーをご利用の場合、交通状況にもよりますが、武蔵小杉駅からは1,000円前後、武蔵中原駅からは900円前後の距離となります。
- ※所要時間は交通事情および時間帯により変わる場合がございます。
- ※運行本数の少ないバス路線もございますので、事前に各事業者のホームページなどでご確認ください。
- ※帰路の直行臨時バス(武蔵小杉駅行き)は、試合終了から約30分間運行されます。
- ※ご来場、ご帰宅時には近隣にお住まいの方の立場になって、良識ある行動をお願いいたします。

■免費事項

本マップの内容は、2024年11月時点の情報を基に作成し発行しておりますので、発行後の工事等によって変更が生じ、現況と異なる場合があります。また、本マップで掲載された内容・情報に起因する損害等について、富士通株式会社、株式会社川崎フロンターレは賠償等いたしませんので、予めご了承ください。

スタジアムまでのアクセス方法

<p>東急東横線/東急目黒線/JR南武線 「武蔵小杉」駅 北口</p> <p>●直行臨時バス 【等々力グラウンド行き】 ※キックオフ約3時間前～(試合開催日のみ) ※平日開催日は2時間前～</p> <p>直行臨時バス降車場からの徒歩ルート映像 直行臨時バス降車場～Uvanceとどろきスタジアム by Fujitsu Bandieraゲートまでの車いす目線の徒歩ルート映像が視聴できます。</p> <p>バス約9分</p>	<p>JR南武線 「武蔵中原」駅</p> <p>路線バスの利用</p> <p>【1番】乗り場 ●満0引「溝口駅前行き」(とどろきアリーナ前経由) ●杉40「中原駅前行き」 「市民ミュージアム行き」</p> <p>【2番】乗り場 ●満0引「溝の口駅行き」</p> <p>バス約6分</p>	<p>バス約10分</p> <p>市営等々力グラウンド入口</p> <p>徒歩約5分</p>	<p>料金</p> <p>※障害者等割引制度が適用される場合があります。</p> <p>●川崎市バス</p> <table border="1"> <tr> <td>IC・現金 共通</td> <td>大人 220円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>小児 110円</td> </tr> </table> <p>●東急バス</p> <table border="1"> <tr> <td>IC</td> <td>大人 230円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>小児 115円</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>現金</td> <td>大人 230円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>小児 120円</td> </tr> </table>	IC・現金 共通	大人 220円		小児 110円	IC	大人 230円		小児 115円	現金	大人 230円		小児 120円
IC・現金 共通	大人 220円														
	小児 110円														
IC	大人 230円														
	小児 115円														
現金	大人 230円														
	小児 120円														

Uvanceとどろきスタジアム by Fujitsu

Fujitsu Uvance

Fujitsu Uvanceとは

Fujitsu Uvanceとは、社会課題の解決に取り組む富士通の事業モデルです。Planet (地球環境問題の解決) Prosperity (デジタル社会の発展) People (人々のウェルビーイング向上) という3つの分野での課題解決に貢献することで、持続可能な社会の実現を目指します。



Fujitsu Uvanceの由来

“あらゆる (Universal) ものをサステナブルな方向に前進 (Advance) させる” という2つの言葉を重ね合わせた名称。「多様な価値を信頼でつなぎ、変化に適應するしなやかさをもたらすことで、誰もが夢に向かって前進できるサステナブルな世界をつくる」という富士通の決意を込めています。

▲フロンターレは、2024年8月・9月の3つの公式戦で、「Fujitsu Uvance」の文字を胸にあしらったユニフォームを着用しました。

Fujitsu Sports

等々力緑地内にある「Uvanceとどろきスタジアム by Fujitsu」や「とどろきアリーナ」では富士通と関わりがある様々なスポーツチームの試合が開催されています。

川崎フロンターレ

富士通サッカー部として1955年発足。1997年にチーム名を川崎フロンターレに改称し1999年よりJリーグ参戦。「フロンターレ」はイタリア語で「正面」「前鋒」の意味。これは常に最前線で挑戦し続けるフロンティアスピリッツ、正面から正々堂々と戦う姿勢を表現しています。2017年にリーグ初優勝。2023年末までに7つの国内タイトルを獲得しました。

富士通フロンティアーズ

1984年、富士通グループのアメリカンフットボール経験者が集まり、同好会として発足。翌年の1985年、日本のアメリカンフットボール界の開拓者となることを誓い「FRONTIERS」と命名、正式にスタート。「仕事もフットボールも日本一」は創部当時から今も受け継ぐチームスピリット。2023シーズンでは3連覇、8回目の日本一を達成しました。

富士通レッドウェーブ

1985年創部。1993年には赤い波が強豪チームを脅かす存在となるようにとの思いから「レッドウェーブ」と命名。高確率のシュートと展開の早いバスケットを強みとし、Wリーグ2023-24シーズンで優勝しました。日本代表選手も多く輩出している、Wリーグを代表するチームです。

等々力緑地のみらい



訪れた人を最高のスポーツと豊かな自然につなぐ、多様なニーズに応え彩り豊かな活動をひろげる、次の100年に続くまちの未来への基盤をつくる、を基本方針に、2026年ごろから工事をはじめ、2029年度末までに整備工事を完成させる予定です。

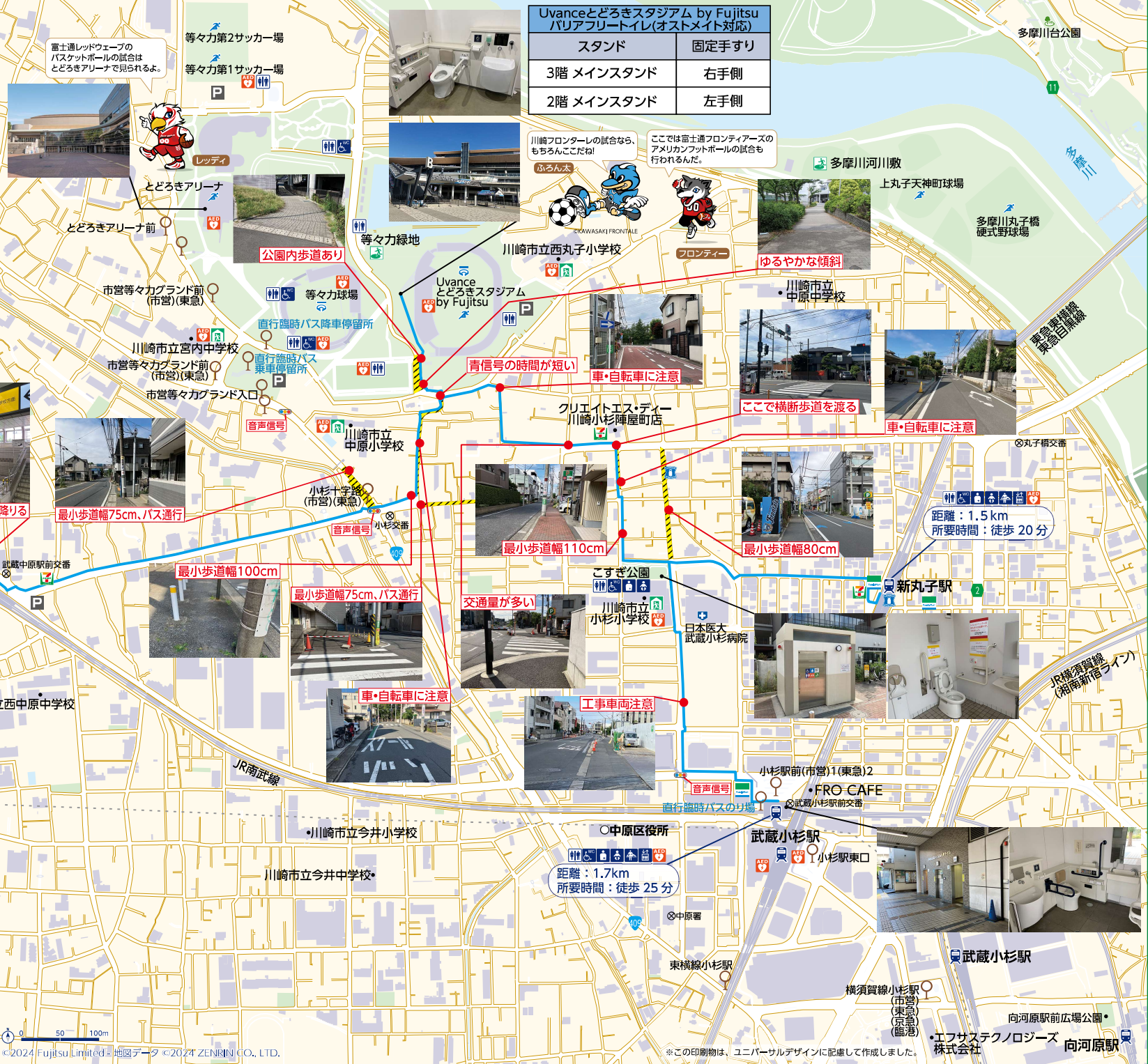
球技専用スタジアム

35,000人の観客を収容する、サッカーをはじめとする球技専用のスタジアム。良好な観戦環境と競技者がベストなパフォーマンスを発揮できる競技環境を提供し、観客と競技者の一体感を生み出すスタンド構成により、感動や熱狂を喚起する「魅せる」スタジアムとなる予定です。

新とどろきアリーナ

バスケットボール・バレーボールなどのスポーツと音楽イベント両方に転換可能なU字型の観客席を持つフレキシブルなアリーナになる予定です。(計画収容人数：約5,000人)

川崎フロンターレスクール生・当事者・
富士通フロンティアズの選手がルートを確認



Uvanceとどろきスタジアム by Fujitsu バリアフリートイレ(オストメイト対応)	
スタンド	固定手すり
3階 メインスタンド	右手側
2階 メインスタンド	左手側

地図凡例

JIS Z 8210

- 段差が少ないルート
- トイレット
- 駐車場
- バリアフリートイレ
- AED
- オストメイト対応
- 広域避難場所
- 乳幼児用設備
- 避難所
- 介助用ベッド
- 音声信号
- エレベーター
- 通行注意箇所
- 駅
- バス停

「測量法に基づく国土地理院長承認 (使用) R.4.Hs.535-14133011J」